Fast SWⅡ-8

8 Ports 100M/10M Switching HUB

取扱説明書

この度は、corega Fast SW Ⅱ -8をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

製品概要

本製品は、100BASE-TX/10BASE-Tポートを8ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。

- 17,000個のMACアドレス登録数をサポート
- フローコントロール(Half Duplex時:バックプレッシャー機能、Full Duplex時:IEEE802.3x)をサポート
  Full Duplex時のフローコントロールは、接続先の機器もフローコントロール(IEEE802.3x)をサポートしている場合に機能します。
- オートネゴシエーション機能をサポート
- AC電源を内蔵
- カスケード接続専用ポート(MDI)を1ポート装備
- ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。万一、欠品、不良などございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- corega Fast SW Ⅱ -8本体
- 電源ケーブル(AC100V用)
- ゴム足(粘着タイプ・4個)
- 取扱説明書(本書は製品保証書もかねております)
- シリアル番号シール

再梱包

本装置を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

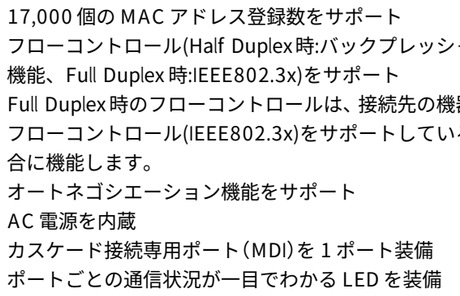


図1　外観図

① **Power（緑）**
本体に電源が供給されているとき点灯します。

② **100BASE-TX/10BASE-Tポート**
100BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクターです。
このポートは、自動認識機能によって通信速度(100Mbps/10Mbps)を検出し、最適な状態で接続します。

③ **カスケードポート**
他のリピーターやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用ポートです。
カスケードポートはポート8と共用のため、ポート8を使用している場合は使用できません。

④ **Link/Activity（緑）**
本製品のポートと接続機器とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

⑤ **100M（緑）**
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbpsで動作していることを示します。

⑥ **Collision/Full duplex（緑）**
ポートがFull duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplexで動作していることを示し、コリジョンが発生しているときに点滅します。

⑦ **電源コネクター**
電源ケーブルを接続するためのコネクターです。

設置するまえに

□ **設置場所**
本書裏面の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。設置に当たっては、次の点にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 本体側面にある通気口をふさがないように設置してください。
- テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

□ **電源への接続（入力電源）**
本製品は日本国内で使用してください。この場合、同梱の電源ケーブルを用い、AC100Vの電源に接続してご使用ください。また、指定された電源電圧以外で使用しないでください。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

□ **ゴム足の取り付け**
本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ず付属のゴム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をします。
本体底面の四隅に□マークがありますので、汚れをよくふき取ってから、その位置にゴム足を貼り付けてください。
また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

起動と停止

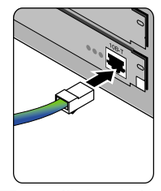
電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。
本製品に電源スイッチはありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますのでご注意ください。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

接続のしかた

□ **ケーブル**
すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。
また、ケーブルは100BASE-TXの場合はカテゴリ5のUTPケーブル(ストレートタイプ)、10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

□ **通信速度/通信モードの設定**
接続先の機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーションをサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

□ **接続手順**
① 本体前面の100BASE-TX/10BASE-Tポートと接続先の機器をUTPケーブルで接続します。



② 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。

図3　端末の接続

③ 本体前面のPower LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLink/Activity LED(緑)が点灯します。

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。
本製品と端末間のUTPケーブルの長さは**100m**以内にしてください。

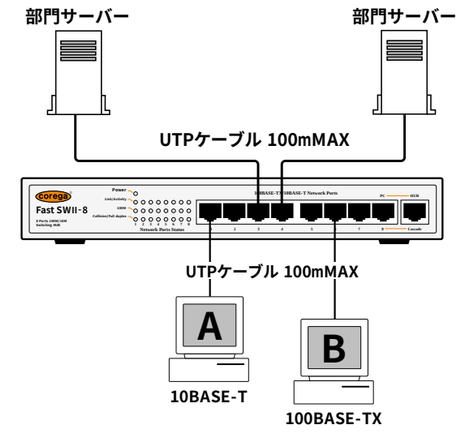


図4　スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポートを使用すると、クロスケーブルを使用することなく、簡単にカスケード接続することができます。
また、スイッチ同士のカスケード接続では、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。
カスケードの段数は、ネットワーク上で使用しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。

本製品のカスケードポートと他のスイッチやリピータを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です

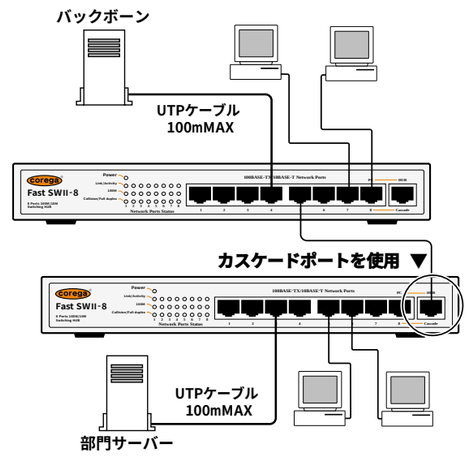


図5　カスケード接続の例

□ **接続手順**
① 本製品のカスケードポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。
カスケードポートはポート8と共用のため、ポート8を使用している場合は使用することができません。

② UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先の機器の通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートに接続します。

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

① Power LEDは点灯していますか？

Power LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

② Link/Activity LEDは点灯していますか？

Link/Activity LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

□ 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

□ UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。本製品と端末を接続するUTPケーブル、本製品と他のスイッチやリピータを接続するUTPケーブルの長さはすべて100m以内と規定されています。

□ ポート8とカスケードポートを同時に使用していませんか。ポート8とカスケードポートは共用のため、両方を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。

□ 本製品のカスケードポートを確認してください。本製品と他のスイッチやリピータをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと、接続先機器の通常の100BASE-TX/10BASE-Tポートを接続してください。

□ 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

□ リピータ(＝ハブ)の数が制限を越えてないかどうかを確認してください。
ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスⅡのリピータは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピータ間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスⅠのリピータはカスケード接続することができません。
イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大4台までとされています。

推奨ケーブル

100BASE-TX/10BASE-Tケーブル
次のような結線(ストレート)のUTPケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable＝シールドなしツイストペアケーブル)をご使用ください。100BASE-TXでは、カテゴリー5のUTPを使用しなければなりません。10BASE-Tでは、カテゴリー3、4、5のケーブルを使用することができます。

MAU(MDI)			HUB(MDI-X)	
TD +	1	--------->	1	RD +
TD -	2	--------->	2	RD -
RD +	3	<---------	3	TD +
未使用	4		4	未使用
未使用	5		5	未使用
RD -	6	<---------	6	TD -
未使用	7		7	未使用
未使用	8		8	未使用

製品仕様

□ **サポート規格**
IEEE802.3
IEEE802.3u
IEEE802.3x

□ **スイッチング方式**
ストア＆フォワード

□ **電源部**

定格入力電圧	:	AC100～240V
入力電圧範囲	:	AC90～255V
定格周波数	:	50/60Hz
最大入力電流	:	0.3A
平均消費電力	:	7.0W(最大8W)
平均発熱量	:	6.0kcal/h(最大6.9kcal/h)

□ **環境条件**

保管時温度	:	-20～60℃
保管時湿度	:	95%以下 (ただし、結露なきこと)
動作時温度	:	0～40℃
動作時湿度	:	80%以下 (ただし、結露なきこと)

□ **外形寸法（突起部含まず）**
: 251(W)x118(D)x37(H)mm

□ **重量**
: 890g

□ **MACアドレスエントリー数**
: 17,000個

□ **アドレス保持時間**
: 240秒

□ **メモリ容量**
: 1M Bytes

□ **適用規格**
EMI : VCCI クラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

保証と修理について

□ **保証について**
本書に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品(ドライバーディスクは除く)の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

□ **修理について**
故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛てに製品を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅急便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。
- 修理期間は、製品到着後、約7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

□ **製品送付先**
〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20
(株)コレガ corega サポートセンター宛

corega製品の情報を知りたいときには

当社のホームページに、最新情報や製品についてのＱ＆Ａなどを掲載しています。どうぞご利用ください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名	corega Fast SWⅡ-8
シリアル番号 (S/N)	
ご購入日	
製品保証に関するお問い合わせ先	**corega サポートセンター** **TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294** 住所：〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20 受け付け時間：10:00～12:00/13:00～17:00 月～金（祝・祭日を除く）
販売店様印	

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

PN J613-M6746-00 Rev.A 991220
FN coFast SWII-8.Rev.A

● corega のホームページにアクセスしてください！
http://www.corega.co.jp/

● corega Net-News を購読しませんか？
http://www.corega.co.jp/service/news.htm
corega Net-News は、コレガ社がお届けするメール配信サービスです。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: **045-476-6268**
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: **045-476-6294**
年中無休 24 時間

調査依頼書のご記入のお願い

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウエアについて

* 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)

お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2000 株式会社コレガ

商標

coregaは、株式会社コレガの商標です。

2000年1月 Rev.A 初版

調査依頼書(corega Fast SWII-8)

年　月　日

一般事項

1. 会社名(個人名)：　　フリガナ：
部署名：　　ご担当者：
ご連絡先住所：〒

TEL：(　　)　　FAX：(　　)

2. 購入先：　　購入年月日：
購入先担当者：　　購入先 TEL：(　　)

ハードウエアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウエア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名： corega Fast SW II-8

2. お問い合わせ内容　□別紙あり　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図　□別紙あり　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

安全のために　必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

交流 100V の電源でお使いください
異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電圧注意

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

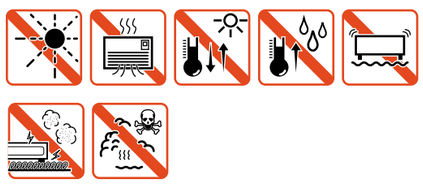
プラグを抜け

電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：
- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所



取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類禁止

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。
・ハードウェア本体　：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。
(但し、本規定の他の条項に準じます。)
・電源アダプター / 電源ケーブル　：1 年保証
・本体付属品　：3 ヶ月保証
■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。
■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。(ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。)
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換(バックアップ電池など)
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。
■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。
■製品保証書は、日本国内のみで有効です。
■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。